

1. 宛名のお子さんのご家族の状況について

問1 お住まいの小学区をお答えください。(1つに○)

- | | | | |
|---------|-------------------------|---------|---------|
| 1. 大塚 | 2. 三谷東 | 3. 三谷 | 4. 蒲郡東部 |
| 5. 蒲郡西部 | 6. 蒲郡南部 | 7. 蒲郡北部 | 8. 竹島 |
| 9. 中央 | 10. 塩津 | 11. 形原北 | 12. 形原 |
| 13. 西浦 | 14. わからない(町名を記入して下さい:) | | |

問2 宛名のお子さんの「生年月」、「きょうだいのこと」、「家族の人数」をご記入ください。

(1)生年月 (数字を記入)	平成・令和 <input type="text"/> <input type="text"/> 年 <input type="text"/> <input type="text"/> 月生まれ		
(2)きょうだいの数	<input type="text"/> 人	(3)末子の満年齢	R5年12月1日現在 満 <input type="text"/> <input type="text"/> 歳
(4)家族の人数	家族の人数(あなたを含めて) () 人 子どもの人数(成人している子どもも含めて) () 人		

問3 回答されている方は、お子さんからみてどなたですか。(1つに○)

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問4 あなたには配偶者(夫または妻)がいますか。(1つに○)

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問5 同居しているご家族は、お子さんからみてどなたですか。(あてはまるすべてに○)

- | | | |
|----------|---------------------------------|----------|
| 1. 父親 | 2. 母親 | 3. 兄弟姉妹 |
| 4. 祖母 | 5. 祖父 | 6. 伯母・叔母 |
| 7. 伯父・叔父 | 8. その他 () | |

問6 お子さんの子育てを主にしているのは、お子さんからみてどなたですか。(1つに○)

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他 ()

2. 子どもの育ちをめぐる環境について

問7 お子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方(施設)についてお答えください。(あてはまるすべてに○)

- | | | | |
|---|--------|-----------|---------------------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 | 4. 祖父母 |
| 5. 幼稚園 | 6. 保育園 | 7. 認定こども園 | 8. 小規模保育事業所(むつみの丘等) |
| 9. 児童発達支援事業所(にこりん、がまごおり・ふれあいの場等) | | | |
| 10. 子育て世代包括支援センター(うみのこ) 11. 子育て支援センター 12. 児童館 | | | |
| 13. その他 () | | | |

問8 宛名のお子さんとお子さんの祖父母との同居・近居の状況について、お答えください。

(あてはまるすべてに○)

1. 宛名のお子さんからみて、父親の親と同居
2. 宛名のお子さんからみて、父親の親と近居 (おおむね、徒歩20分以内)
3. 宛名のお子さんからみて、母親の親と同居
4. 宛名のお子さんからみて、母親の親と近居 (おおむね、徒歩20分以内) ...
5. いずれの親とも同居・近居ではない <<問9へ>>

<<問8-1へ>>

問8-1 問8で「1.」から「4.」までのいずれかに○をつけた方にうかがいます。

同居・近居をしたきっかけは何ですか。(あてはまるすべてに○)

1. 結婚前から引き続き同居・近居している
2. 結婚がきっかけ
3. 子どもの誕生がきっかけ
4. 子どもの入学・進学がきっかけ
5. 自身または配偶者の就業がきっかけ
6. 親の介護がきっかけ
7. 自宅または親の住宅の購入がきっかけ
8. その他()

問9 お子さんの祖父母から受けている子育てに関する支援は何ですか。(あてはまるすべてに○)

1. 子どもの相手・預かり (日常的に)
2. 子どもの相手・預かり (急用などのとき)
3. 子どもの送り迎え
4. 教育やしつけの支援
5. 家事の手伝い
6. 金銭的な援助
7. 物資での支援
8. ほとんどない
9. その他()

問10 お子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。(1つに○)

1. いる <<問10-1へ>>
2. いない <<問11へ>>

問10-1 問10で「1.」に○をつけた方にうかがいます。

気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(あてはまるすべてに○)

1. 配偶者(夫または妻)
2. 父母(子どもの祖父母)
3. 親戚・知人・近所の人
4. 職場の人
5. 子育て中の仲間
6. 保育園・幼稚園・認定こども園等
7. 児童発達支援事業所(にこりん、ふれあいの場等)
8. 子育て世代包括支援センター(うみのこ)
9. 子育て支援センター
10. 児童館
11. 子育てコンシェルジュ
12. 家庭児童相談室
13. 医師
14. 民生委員・児童委員
15. 障がい者支援センター
16. 福祉総合相談室
17. 民間の相談サービス
18. その他()

3. 保護者の就労状況について

◆次の問11は、(1)母親と(2)父親の回答欄があります。お手数ですが(1)、(2)それぞれにお答えください。ひとり親家庭の方は(1)、(2)のどちらかにお答えください。

問11 お子さんの保護者の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。



【注意点】



※フルタイムとは週5日程度・1日8時間程度の就労、パート・アルバイト等とはフルタイム以外の就労をいいます。

※産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況をご記入ください。

※就労日数が一定でない場合は最も多いパターンをご記入ください。

※自宅で仕事をされている方の就労時間は仕事の開始時間と終了時間を就労時間としてください。

(1) 母親について (1～6のいずれか1つに○)	就業状況や希望 時刻は24時間制で記入（例：17時台）	
<p>1. フルタイムで働いている →「就業時間」のみ回答</p> <p>2. フルタイムだが、現在産休・育休・介護休業中 →「就業時間」のみ回答</p>	就業時間	①就労日数： <input type="text"/> 日／週
		②平均就労時間（残業含む）： <input type="text"/> 時間／日
		③平均的な家を出る時刻： （土日祝の出勤がない場合は欄に斜線  をお願いします） 平日： <input type="text"/> <input type="text"/> 時台 土日祝： <input type="text"/> <input type="text"/> 時台
		④平均的な帰宅時刻： （土日祝の出勤がない場合は欄に斜線  をお願いします） 平日： <input type="text"/> <input type="text"/> 時台 土日祝： <input type="text"/> <input type="text"/> 時台
<p>3. パート・アルバイト等で働いている →「就業時間」「フルタイムへの希望」を回答</p> <p>4. パート・アルバイト等だが、現在産休・育休・介護休業中 →「就業時間」「フルタイムへの希望」を回答</p>	フルタイムへの希望	⑤フルタイムへの転換希望：（ア～エのいずれか1つに○） ア フルタイム希望で実現できる見込みがある イ フルタイム希望だが実現見込はない ウ パート・アルバイト等を継続希望 エ やめて子育てや家事に専念したい
		⑥今後の就労意向：（ア～ウのいずれか1つに○） ア 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない） イ 1年より先、一番下の子が <input type="text"/> 歳になったころに就労したい ウ すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
<p>5. 現在は仕事をしていない →「今後の就労希望」のみ回答</p> <p>6. これまでに就労したことがない →「今後の就労希望」のみ回答</p>	今後の就労希望	⑦希望する就労形態：（ア～イのいずれか1つに○） ア フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労） イ パート・アルバイト等 → <input type="text"/> 日／週 <input type="text"/> 時間／日

(2) 父親について (1～6のいずれか1つに○)		就業状況や希望 時刻は24時間制で記入 (例：17時台)	
1. フルタイムで働いている →「就業時間」のみ回答	就業時間	①就労日数：	<input type="text"/> 日／週
2. フルタイムだが、現在産休・育休・介護休業中 →「就業時間」のみ回答		②平均就労時間(残業含む)：	<input type="text"/> 時間／日
3. パート・アルバイト等で働いている →「就業時間」「フルタイムへの希望」を回答		③平均的な家を出る時刻： (土日祝の出勤がない場合は欄に斜線  をお願いします)	平日： <input type="text"/> <input type="text"/> 時台 土日祝： <input type="text"/> <input type="text"/> 時台
4. パート・アルバイト等だが、現在産休・育休・介護休業中 →「就業時間」「フルタイムへの希望」を回答		④平均的な帰宅時刻： (土日祝の出勤がない場合は欄に斜線  をお願いします)	平日： <input type="text"/> <input type="text"/> 時台 土日祝： <input type="text"/> <input type="text"/> 時台
5. 現在は仕事をしていない →「今後の就労希望」のみ回答	フルタイムへの希望	⑤フルタイムへの転換希望：(ア～エのいずれか1つに○)	
6. これまでに就労したことがない →「今後の就労希望」のみ回答		ア フルタイム希望で実現できる見込みがある イ フルタイム希望だが実現見込みはない ウ パート・アルバイト等を継続希望 エ やめて子育てや家事に専念したい	
		⑥今後の就労意向：(ア～ウのいずれか1つに○)	
		ア 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない) イ 1年より先、一番下の子が <input type="text"/> 歳になったころに就労したい ウ すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	
		⑦希望する就労形態：(ア～イのいずれか1つに○)	
		ア フルタイム (週5日程度・1日8時間程度の就労) イ パート・アルバイト等 → <input type="text"/> 日／週 <input type="text"/> 時間／日	

4. 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問12 お子さんは、現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育事業※」を利用していますか。(1つに○)

1. 利用している <<問14へ>>

2. 利用していない <<問13へ>>

※定期的な教育・保育事業とは、月単位で定期的に利用している事業(幼稚園、保育園、児童発達支援事業所)等のことです。

問13 問12で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます（回答後は問17へ）。

利用していない主な理由は何ですか。（あてはまるすべてに○）

1. 利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親せきがみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、教育・保育事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 不定期での預かりサービス（一時保育など）を利用しているから
9. お子さんがまだ小さいため（ 歳くらいになったら利用しようと思う）
10. その他（ ）

《問17へ》

問14から問16-2までは、問12で「1. 利用している」に○をつけた方だけにうかがいます。
（問12で「2. 利用していない」に○をつけた方は、問17までお進みください。）

問14 お子さんは、年間を通じて、平日どのような教育・保育事業を「定期的」に利用していますか。
（あてはまるすべてに○）

1. 保育園（認可を受けた定員20人以上のもの）
2. 幼稚園（通常の就園時間）
3. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かるサービス）
4. 認定こども園（幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設）
5. 小規模保育事業所（認可を受けた定員おおむね6～19人のもの）（むつみの丘）
6. 家庭的保育園（保育者の家庭等で子どもを預かるサービス）
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
8. 居宅訪問型保育（保育者が子どもの家庭で保育するサービス）
9. その他保育施設（認可外保育所等）
10. 児童発達支援事業（にこりん、がまごおり・ふれあいの場等）
11. ファミリー・サポート・センター（地域住民による子どもの預かりサービス）
12. その他の施設・サービス

問14-1 問14で○をつけた事業のうち、**主に利用している事業の番号を1つ選び**、利用日数、利用時間、開始時刻と終了時刻（24時間制）について、**(1)現在と(2)希望をご記入ください**。特に(2)希望がない場合は、(1)現在の利用状況だけで構いません。

主な利用事業の番号を1つ記入	(1)現在の利用状況	(2)希望
<input type="text"/>	週 <input type="text"/> 日 / 1日 <input type="text"/> <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> <input type="text"/> 分	週 <input type="text"/> 日 / 1日 <input type="text"/> <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> <input type="text"/> 分
	時刻：[<input type="text"/> : <input type="text"/>] ~ [<input type="text"/> : <input type="text"/>] まで	時刻：[<input type="text"/> : <input type="text"/>] ~ [<input type="text"/> : <input type="text"/>] まで

時刻は開始と終了を24時間制で記入

問15 問14-1で回答した主な利用事業の実施場所をお答えください。(1つに○)

1. 蒲郡市内
2. 蒲郡市外

問16 この1年間に、お子さんが病気やけがで保育園などを休んだことがありましたか。そのときの対処法などをお答えください。(あてはまるすべてに○)

1. 父親が仕事を休んだ
2. 母親が仕事を休んだ
3. 親族・知人に預けた
4. 働いていない保護者がみた
5. 蒲郡市の病児・病後児保育※施設を利用した
6. ベビーシッターを利用した
7. ファミリー・サポート・センターを利用した
8. 仕方なくこどもだけで留守番させた
9. その他 ()
10. 病気やけがで保育園などを休んだことはなかった

《問16-1へ》

《問17へ》

※病児・病後児保育とは、病期中・病気回復期のお子さまがいる方で、仕事等の都合で家庭での育児ができない方に対して、専用の施設で一時保育を行う事業です。

問16-1 問16で「1.」または「2.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

その際、「病児・病後児保育を利用したい」と思いましたか。(1つに○)

思われた方は、希望日数(半日程度は、1日としてカウント)もご記入ください。

1. できれば利用したかった →年間〔 〕日 《問16-2へ》
2. 利用したいと思わなかった 《問17へ》

問16-2 問16-1で「1.」に○をつけた方にうかがいます。

病児・病後児保育の望ましい形態はどれですか。(あてはまるすべてに○)

1. 他の施設(例:幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民が子育て家庭の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)
4. その他 ()

問16-3 問16-1で「1.」に○をつけた方にうかがいます。

病児・病後児保育を利用しなかった理由は何ですか。(あてはまるすべてに○)

1. 病児・病後児保育施設があることを知らなかった
2. 手続きの仕方がわからない
3. 施設が自宅から遠距離にあるため
4. 手続きが面倒
5. 利用料金が安い
6. 慣れない施設で不安
7. その他 ()

5. 平日に定期的に利用したい教育・保育事業について（すべての方がお答えください）

問17 現在、利用している・していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育事業として、(1)定期的に利用したいと思う事業と、(2)もし利用料が無償化されたら、定期的に利用したい事業についてお聞きします。

(1)の場合と(2)の場合で、それぞれお子さんの年齢ごとに希望する事業を、「1.」～「13.」の中から1つ選び、該当欄に数字をご記入ください。（記入例も参照ください。）

希望	年齢					
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
例) 現在1歳児の記入例		13	13	2	2	2
(1)定期的に利用したいと思う事業						
(2)利用料が無償化されたら利用したい事業※						

1. 保育園（認可を受けた定員20人以上のもの）
2. 幼稚園（通常の就園時間）
3. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かるサービス）
4. 認定こども園（幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設）
5. 小規模保育事業所（認可を受けた定員おおむね6～19人のもの）（むつみの丘等）
6. 家庭的保育園（保育者の家庭等で子どもを預かるサービス）
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
8. 居宅訪問型保育（保育者が子どもの家庭で保育するサービス）
9. その他保育施設（認可外保育所等）
10. 児童発達支援事業（にこりん、がまごおり・ふれあいの場等）
11. ファミリー・サポート・センター（地域住民による子どもの預かりサービス）
12. その他の施設・サービス
13. 利用する必要はない　　《問18へ》

《問17-1、問17-2へ》

◇幼児教育・保育無償化について◇

○3～5歳児○

- ・ 保育所、認定こども園の保育料（利用料）が全世帯無償化
- ・ 幼稚園の保育料（利用料）が25,700円/月まで無償化
- ・ 幼稚園の預かり保育利用料が11,300円/月まで（450円/日を上限）無償化
- ・ 認可外保育所や一時預かり事業等の利用料が37,000円/月まで無償化
- ・ 児童発達支援事業の利用料が全世帯無償化

○0～2歳児○（住民税非課税世帯のみ）

- ・ 保育所、認定こども園の保育料（利用料）が無償化
- ・ 認可外保育所や一時預かり事業等の利用料が、住民税非課税世帯は42,000円/月まで無償化

※既に無償化されている施設・事業も含まれます。

問17-1 問17で「1.」から「12.」までのいずれかを選んだ方にうかがいます。

問17で回答した事業のうち、主に利用したい教育・保育事業1つについて、実施場所をお答えください。(1つに○)

1. 蒲郡市内 2. 蒲郡市外

問17-2 問17で「1.」から「12.」のいずれかを選んだ方にうかがいます。

施設・サービスを選ぶとき、どのような点を重視しますか。(あてはまるすべてに○)

- | | |
|--|--------------------|
| 1. 自宅に近い | 2. 兄弟姉妹が通っている (いた) |
| 3. 低年齢児からみてくれる | 4. 近所の友だちが通っている |
| 5. 預けられる時間が長い | 6. 職員の印象がよい |
| 7. 祖父母宅に近い | 8. 周辺環境がよい |
| 9. 通勤に便利などところにある | 10. 施設や設備が充実している |
| 11. 職場に近い | 12. 方針や内容がよい |
| 13. 評判がよい | 14. 利用料が安い |
| 15. 就学前の教育を身につけさせたい | 16. 短時間でも預けられる |
| 17. その他 () | 18. 特にない |

6. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりについて

問18 この1年間で、私用やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や親の病気、あるいは就労のため、お子さんについて不定期に利用しているものがありますか。(あてはまるすべてに○)。

また、利用している事業は、利用日数(半日程度は、1日としてカウント)もご記入ください。

- | | | |
|---|-----------------|---------------|
| 1. 保育園の一時預かり (一時保育) | →年間 [] 日 | } <<問19へ>> |
| 2. 幼稚園の一時預かり (不定期利用の場合のみ) | →年間 [] 日 | |
| 3. ファミリー・サポート・センター | →年間 [] 日 | |
| 4. 認可外保育所 | →年間 [] 日 | |
| 5. ベビーシッター | →年間 [] 日 | |
| 6. その他 () | →年間 [] 日 | |
| 7. 利用していない <<問18-1へ>> | | |

問18-1 問18で「7.」に○をつけた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。(あてはまるすべてに○)

- | | |
|---|---------------------|
| 1. 特に利用する必要がない | 2. 利用したいサービスが市内にない |
| 3. 市内のサービスの質に不安がある | 4. 市内のサービスの利便性がよくない |
| 5. 利用料がかかる・高い | 6. 利用料がわからない |
| 7. 利用対象かどうかわからない | 8. 事業の利用方法がわからない |
| 9. その他 () | |

問19 私用やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や親の病気、あるいは就労のため、お子さんについて、一時預かりを利用したいと思いませんか。【利用には料金がかかります】（1つに○）。
また、「1.」に○をつけた方は、利用したい目的（①～④）すべてに○をつけ、利用希望日数（半日程度は、1日としてカウント）もご記入ください。

1. 利用したいと思う → 年間計〔 〕日
- ① 私用（買い物、習い事等）リフレッシュ目的 → 年間〔 〕日
- ② 冠婚葬祭、子どもの親の病気 → 年間〔 〕日
- ③ 不定期の就労 → 年間〔 〕日
- ④ その他（ ） → 年間〔 〕日

問19-1へ

2. 利用したいと思わない <<問20へ>>

問19-1 問19で「1.」に○をつけた方にうかがいます。

不定期の一時預かりの望ましい形態はどれですか。（あてはまるすべてに○）

1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）
2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：子育て支援センター、児童館等）
3. 地域住民が子育て家庭の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

問20 この1年間に保護者の用事などにより、お子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならぬことはありましたか。（1つに○）

1. あった（預け先が見つからなかった場合を含む） <<問20-1へ>>
2. なかった <<問21へ>>

問20-1 問20で「1.」に○をつけた方にうかがいます。

そのときの対処方法はどれですか。（あてはまるすべてに○）

また、対処した日数もご記入ください。

1. 親族・知人（同居者を含む）に預けた →年間〔 〕泊
2. 保育サービス*を利用した →年間〔 〕泊
3. やむを得ず子どもを同行させた →年間〔 〕泊
4. やむを得ず子どもだけで留守番をさせた →年間〔 〕泊
5. その他（ ） →年間〔 〕泊

*保育サービスとは、次のようなサービスのことです。

- ショートステイ事業実施施設：ショートステイとは、保護者の入院や通院（病気、出産）、あるいは冠婚葬祭や出張等により、一時的に家庭で子どもがみられなくなったとき、小学校修了前までのお子さまを一定期間養育する事業。
- 認可外保育所：児童福祉法に基づく認可を受けていない保育施設。
- ベビーシッター：保護者の代わりに、おおむね乳幼児までの子どもの面倒をみる人の総称。

7. 小学校就学後の放課後の過ごし方について（お子さんが3歳以上の方のみ。宛名のお子さんが3歳未満の方は、問24 へお進みください）

問21 小学校低学年（1～3年生）の、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるすべてに○）

また、選択した事業が、合わせて週5日になるように希望日数を記入してください。「5. 放課後子ども教室」、「6. 児童クラブ」の場合は、希望する時間も〔 〕内にお書きください。時間帯は、24時間制（例：18：00）でお書きください。

1. 自宅 →週〔 〕日
2. 祖父母宅や友人・知人宅 →週〔 〕日
3. 習い事・塾・スポーツクラブ →週〔 〕日
4. 児童館^{※1} →週〔 〕日
5. 放課後子ども教室^{※2} →週〔 〕日 下校～〔 〕：〔 〕まで
6. 児童クラブ^{※3} →週〔 〕日 下校～〔 〕：〔 〕まで
7. ファミリー・サポート・センター →週〔 〕日
8. その他（公民館、公園など） →週〔 〕日

※1 児童館で行っている「児童クラブ」を利用したい場合は「6」と回答

※2 放課後子ども教室：放課後に小学校内で学習・スポーツ・文化芸術活動などを行う取組で、保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

※3 児童クラブ：保護者が就労などにより昼間家庭にいない児童を、放課後、児童館や小学校などでお預かりする取り組みです。

問22 小学校高学年（4～6年生）の、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるすべてに○）

また、選択した事業が、合わせて週5日になるように希望日数を記入してください。「5. 放課後子ども教室」、「6. 児童クラブ」の場合は、希望する時間も〔 〕内にお書きください。時間帯は、24時間制（例：18：00）でお書きください。

1. 自宅 →週〔 〕日
2. 祖父母宅や友人・知人宅 →週〔 〕日
3. 習い事・塾・スポーツクラブ →週〔 〕日
4. 児童館 →週〔 〕日
5. 放課後子ども教室 →週〔 〕日 下校～〔 〕：〔 〕まで
6. 児童クラブ →週〔 〕日 下校～〔 〕：〔 〕まで
7. ファミリー・サポート・センター →週〔 〕日
8. その他（公民館、公園など） →週〔 〕日

問23は、問21または問22の両方またはどちらかで「6. 児童クラブ」に○をつけた方だけにうかがいます
 (それ以外の方は、問24までお進みください。)

問23 (1)土曜日、(2)日曜日・祝日、(3)夏休み・冬休みなどの長期休暇中において、それぞれ児童クラブの利用希望はありますか。((1)~(3)のそれぞれについて、1つに○)
 利用希望がある場合は、希望する学年や時間帯を〔 〕内にお書きください。
 時間帯は、24時間制(例：9：00～18：00)でお書きください。

(1)土曜日	1. 利用希望がある ───┬───▶ 学年は〔 〕年生まで利用したい ───┴───▶ 時間帯は〔 : 〕から〔 : 〕まで利用したい 2. 利用希望はない
(2)日曜日・祝日	1. 利用希望がある ───┬───▶ 学年は〔 〕年生まで利用したい ───┴───▶ 時間帯は〔 : 〕から〔 : 〕まで利用したい 2. 利用希望はない
(3)夏休み・冬休みなどの長期休暇中	1. 利用希望がある ───┬───▶ 学年は〔 〕年生まで利用したい ───┴───▶ 時間帯は〔 : 〕から〔 : 〕まで利用したい 2. 利用希望はない



8. 子育て支援サービス全般について

問24 お子さんは、現在、子育て支援センターや児童館を、それぞれ利用されていますか。

((1)と(2)それぞれについて、1つに○)

「1. 利用している」に○をつけた方は、おおよその利用回数もお書きください。「2. 利用していない」に○をつけた方は、利用していない理由(①～⑧)すべてに○をつけてください。

(あてはまるすべてに○)

(1)子育て支援センター (1つに○)	(2)児童館 (1つに○)
1. 利用している →週 [] 回もしくは月 [] 回 2. 利用していない  <ul style="list-style-type: none"> ① 利用したいが近くにない ② サービスの質に不安がある ③ サービスの利便性が悪い ④ 自分が利用できるのかわからない ⑤ 時間がない ⑥ 利用方法がわからない ⑦ その他 () ⑧ 特に理由はない (必要がない) 	1. 利用している →週 [] 回もしくは月 [] 回 2. 利用していない  <ul style="list-style-type: none"> ① 利用したいが近くにない ② サービスの質に不安がある ③ サービスの利便性が悪い ④ 自分が利用できるのかわからない ⑤ 時間がない ⑥ 利用方法がわからない ⑦ その他 () ⑧ 特に理由はない (必要がない)

問25 子育て支援センターや児童館について、今後の利用希望はありますか。

((1)と(2)それぞれについて、1つに○)

「1. 今後利用したい」に○をつけた方は、おおよその利用希望回数もお書きください。

(1)子育て支援センター (1つに○)	(2)児童館 (1つに○)
1. 今後利用したい →週 [] 回もしくは月 [] 回 2. 特に利用したくない、必要がない	1. 今後利用したい →週 [] 回もしくは月 [] 回 2. 特に利用したくない、必要がない

問26 次の市の事業やサービスについて、あなたが、(1)知っている事業、(2)利用したことがある事業、(3)今後利用したい事業をお聞きします。

「1.」～「6.」の事業の該当欄の、あてはまるものすべてに○をつけてください。(記入例も参照ください。)

	(1)知っている事業	(2)利用したことがある事業 (実際に行ったり、見たり、手に取ったりしたことがある)	(3)今後利用したい事業
例) 1. 子育て世代包括支援センターの母子保健サービス 子育て支援や離乳食、遊びの教室、乳幼児健診や保健師の家庭訪問など、主に子どもの健康面の相談支援を行っている。	○	○	○
1. 子育て世代包括支援センターの母子保健サービス 子育て支援や離乳食、遊びの教室、乳幼児健診や保健師の家庭訪問など、主に子どもの健康面の相談支援等を行っています。			
2. 家庭児童相談室 学校生活・非行・家族関係・障がい・虐待など、家庭と子育ての相談を受けています。相談員が児童館へも出かけて相談を受けています。			
3. 市が発行している子育て情報誌 子育て支援ガイドブック「にこにこ」などです。			
4. 子育て支援センター 育児相談や子育ての情報提供、子育てサークルへの支援などを行うところです。			
5. 子育てコンシェルジュ 様々な子育て情報の発信や相談を受ける子育て案内人です。			
6. 児童館 児童館は、みんなで決まりを守って自由に遊ぶ「子どもの遊び場」です。からだを動かしたり、遊んだり、ゲームや工作、本を読んだりすることができます。			

問27 蒲郡市では、子育て・教育・不登校・心の悩み・就労等に関する様々な相談窓口があります。以下の相談窓口を知っていますか。また、利用したことがある、または、利用したいと思いませんか。「1.」～「14.」の相談窓口の該当欄の、あてはまるものすべてに○をつけてください。(例も参照ください。)

	(1)知っている	(2)利用したことがある	(3)利用したい
例) 1. 子育て世代包括支援センター「うみのこ」 «相談分野：子育て全般»	○	○	○
1. 子育て世代包括支援センター「うみのこ」 «相談分野：子育て全般»			
2. 子育てコンシェルジュ «相談分野：子育て全般»			
3. 子育て支援センター «相談分野：子育て全般»			
4. 家庭児童相談室 «相談分野：子育て・非行・虐待等»			
5. がまごおり若者サポートステーション «相談分野：若者の就労、自立等»			
6. 青少年センター「蒲郡市 子ども・若者相談窓口」 «相談分野：不登校、引きこもり、いじめ、悩み事、就労等»			
7. あすなる教室（適応指導教室）・不登校相談室「麦」 «相談分野：不登校等»			
8. スクールカウンセラー（各小中学校） «相談分野：学校、家庭での困りごと等»			
9. スクールソーシャルワーカー（学校教育課） «相談分野：学校、家庭での困りごと等»			
10. 福祉総合相談室 «介護、障がい、子育て、生活困窮等»			
11. よろず相談窓口 «相談分野：人権、行政、家庭内の問題等»			
12. 主任児童委員（各中学校区） «相談分野：地域での困りごと、子育て相談等»			
13. 児童相談所虐待対応ダイヤル「189」 «相談分野：虐待等»			
14. 東三河児童・障害者相談センター «相談分野：養護、障害、非行、育成»			

9. 子育て全般について

問28 あなたは、これまでに希望した時期に、希望した保育園・幼稚園などの保育サービスを利用することができましたか。(1つに○)

1. 大きな問題もなく利用できた
2. 多少の問題はあったが調整して利用できた
3. 利用できなかった
4. その他 ()

問29 あなたは、自分にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。(1つに○)

1. 楽しいと感じることの方が多い
2. 楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい
3. 辛いと感じることの方が多い
4. その他 ()
5. わからない

問30 あなたの家庭では、お子さんが選択・決定したことを実現できるよう声掛け・補助ができていますか。(1つに○)

1. はい <<問30-1へ>>
2. いいえ <<問31へ>>

問30-1 問30で「1.」に○をつけた方にうかがいます。

どのような場面で、どのような声掛け・補助をしていますか。(自由記載)

()

問31 蒲郡市は、子育てをしやすいまちだと思いますか。(1つに○)

1. そう思う
2. どちらかというと思う
3. どちらかというと思わない
4. そうは思わない
5. わからない

問32 現在の蒲郡市について、あなたの実感に最も近いものをお答えください。

((1)~(10)それぞれについて、1つに○)

	1. そう思う	2. 少しそう 思う	3. どちらとも 言えない	4. あまりそう 思わない	5. そう思わな い
例) (1)地域の人や知人が何かと助けてくれる		○			
(1)地域の人や知人が何かと助けてくれる					
(2)家から近いところで働けるので仕事と子育て が両立しやすい					
(3)教育環境が良い					
(4)住宅事情が良い					
(5)自然環境が良い					
(6)子育てについての情報を得やすい					
(7)子育てについて相談できる場が身近にある					
(8)保育サービスが充実している					
(9)子どもの遊び場が多い					
(10)子育てについて職場の理解がある					

問33 地域に、無料または安価で子どもに食事の提供を行う「子ども食堂」があったら、お子さんを参加させたいと思いますか。(1つに○)

1. 参加させたい <<問33-1へ>>

2. 参加させたくない

3. わからない

<<問34へ>>

問33-1 問33で「1.」に○をつけた方にうかがいます。

その理由について、もっとも近いと思うものは何ですか。(1つに○)

1. 家でしっかり食事がとれないから

2. 子どもと一緒に食べる人が欲しいから

3. たまには食事を作るのを休みたいから

4. その他 ()

問34 あなたは近所や地域の人とのつきあいはどの程度ですか。(1つに○)

1. あいさつする程度

2. 時々立ち話をする

3. 家へ上がって話をする

4. 食事に行ったり、家族ぐるみでつき合っている

5. 困っているときに相談したり助け合ったりしている

6. ほとんどつきあいはない

問35 あなたは、子育てがしやすいまちの要素として、地域社会のかかわりは必要だと思いますか。

(1つに○)

- 1. 大いに必要である
- 2. ある程度は必要である
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり必要ではない
- 5. 必要ではない

問36 あなたは、お子さんの小学校進学について、何か不安はありますか。

(あてはまるすべてに○)

- 1. 他人とのコミュニケーションがとれるか
- 2. 授業をじっと聞いていられるか
- 3. 体力がついていくか
- 4. 今までの友達と離れてもやっていけるか
- 5. 児童クラブ等の利用ができるか
- 6. 自分が学校の行事等に参加できるか
- 7. 自分の勤務時間・雇用形態などに変更がないか
- 8. その他()
- 9. 特にない

問37 あなたは、お子さんに将来どこまで進学してほしいと思っていますか。

((1)~(3)それぞれについて、1つに○)

	1. 受けさせたい	2. 経済的に可能だが、必要だと思わない	3. 経済的に受けさせることは難しい
例) (1)高等学校までの教育	○		
(1)高等学校までの教育			
(2)短大・専門学校までの教育			
(3)大学・大学院までの教育			

問38 あなたは、子育てに関して悩んでいること、気になることは何ですか。

(あてはまるすべてに○)

- 1. 病気や発育・発達に関すること
- 2. 食事や栄養に関すること
- 3. 子どもとの接し方に自信が持てない
- 4. 子どもとの時間を十分にとれない
- 5. 話し相手や相談相手がいない
- 6. 仕事や自分のやりたいことが十分できない
- 7. 子どもの教育に関すること
- 8. 友だちづきあい (いじめなどを含む) に関すること
- 9. 登園拒否などの問題のこと
- 10. 子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ない
- 11. 配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わない
- 12. 子育てのストレスがたまり、子どもに手をあげたり世話をしなかつたりしてしまう
- 13. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからない
- 14. その他 ()
- 15. 特にない

問39 お子さんを子育てするうえで、地域の人に望みたいことはありますか。

(あてはまるすべてに○)

1. 出会ったときに声をかけるなど、積極的に子どもに関わってほしい
2. 「いまどきの親は」など、一方的に批判しないでほしい
3. 子どもが良くないことをしているときは、積極的に叱ってほしい
4. 子どもが主体的に参加できる活動の機会をつくってほしい
5. 育児などで困ったことがあった場合に相談にのってほしい
6. 子どもが危険な目にあいそうなときに手助けや保護をしてほしい
7. 「うるさい」などと言わないで、子どもが伸び伸び遊ぶことを認めてほしい
8. 緊急の用事などのときに、一時的に子どもをみてほしい
9. その他 ()
10. 特にない
11. 地域の人にあまり関わってほしくない

問40 幼児期から学童期、そして思春期など、ライフステージの変化に伴い、自治体からの支援が必要だと感じますか。

1. はい <問40-1へ>
2. いいえ <問41へ>

問40-1 問40で「1.」に○をつけた方にうかがいます。

どのような支援が必要だと感じますか。(自由記載)

()

問41 子育てしやすい環境の整備のために、行政に期待することは何ですか。

(あてはまるすべてに○)

1. 予防接種や乳幼児健診などの母子保健の整備
2. 保育サービスや施設の整備
3. 乳幼児や子どもが利用しやすい遊び場や施設の整備
4. 子育てについて学ぶ機会の増加
5. 保育園や幼稚園の費用の負担軽減
6. 子育て家庭への手当の支給や税制優遇措置の拡大
7. 子育ての不安や悩みの相談窓口の整備
8. 育児休暇や育児休業などの制度の利用促進
9. 女性が就労しやすい環境の整備
10. 道路や公園など、子どもが安心して暮らせる環境の整備
11. 子育て家庭の住宅の確保や家賃の補助
12. いじめや差別などをなくす教育の推進
13. 地球温暖化や自然環境の保全などの環境問題の対策
14. 食品の安全性の確保
15. その他 ()
16. わからない
17. 特にない

10. ひとり親家庭の方への支援について（ひとり親の方へのみ）

◆「10. ひとり親家庭の方への支援について」は、ひとり親家庭の方のみにうかがいます。

問42 あなたは、以下の施設や事業等を知っていますか。また、利用したことがあるまたは、利用したいと思いませんか。「1.」～「6.」の相談窓口の該当欄の、あてはまるものすべてに○をつけてください。（記入例も参照ください。）

	知っている	利用したことがある	利用したい
例) 1. 母子家庭等就業支援センター (ガーネットあいち) ※ 1	○	○	○
1. 母子家庭等就業支援センター (ガーネットあいち) ※ 1			
2. 愛知母子・父子福祉センター ※ 2			
3. 母子家庭等給付金事業 ※ 3			
4. 母子・父子寡婦福祉資金貸付事業			
5. 母子家庭等日常生活支援事業			
6. ひとり親家庭学習支援事業 ※ 4			
7. 雇用保険の教育訓練の指定教育訓練講座 ※ 5			

- ※ 1 ひとり親家庭や寡婦の方の就業を促進するため、就業支援講習会の開催、就業情報の提供等、一貫した就業サービスを行っています。
- ※ 2 生活一般や養育費の相談(母子、父子家庭、寡婦を対象)や交流場所の提供を行っています。
- ※ 3 自立支援教育訓練給付金、高等職業訓練促進給付金(看護師・保育士・介護福祉士・理学療法士・作業療法士・歯科衛生士・美容師・社会福祉士・調理師等の資格の取得)、高等職業訓練促進資金のことをいいます。
- ※ 4 (一財)蒲郡市母子寡婦福祉会で無料の学習支援を行っています。
- ※ 5 厚生労働大臣が指定する「専門実践教育訓練」、「特定一般教育訓練」、「一般教育訓練」のことをいいます。

問43 ひとり親家庭の自立・安定を図るため、あなたが市や国に要望したいことは何ですか。

(あてはまるすべてに○)

1. ひとり親家庭に対する偏見のない世の中をつくる
 2. 職業訓練の場や働く機会を増やすなど安定的な就業の支援を充実する
 3. 市営住宅などの公営住宅を増やすなど居住の確保がしやすい環境を整備する
 4. 健康診断や保健相談・指導を充実する
 5. 医療や介護サービスを充実する
 6. 保育園(所)を整備する
 7. 学童保育の場を増やす
 8. 生活上の悩みの相談窓口を充実する
 9. 学習や教養などを身につける機会を増やす
 10. スポーツやレクリエーションに参加できる機会を増やす
 11. いろいろな施設や制度のPRを充実する
 12. 民間ボランティアや社会福祉団体を育成する
 13. 年金・手当など経済的支援を充実する
- (次ページへ続きます)

(前ページからの続きです)

14. 子どもの居場所づくりや学習支援
15. 養育費確保のためのアドバイス
16. その他 ()

【以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。】

※返信用封筒に無記名で入れ、封をして、**12月29日(金)まで**に郵便ポストにご投函ください。